

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER Month 1

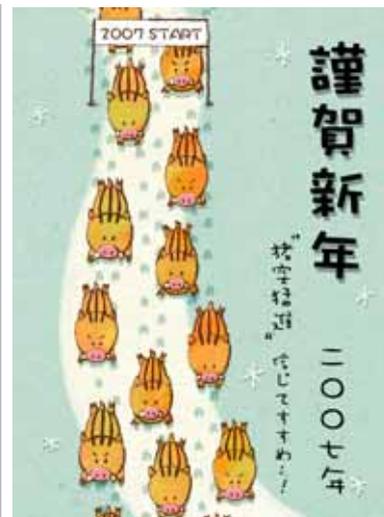


年頭あいさつ

看護部長 岡本 民子

あけましておめでとうございます。皆さま健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年は看護師確保の困難から、皆さんにはたいへん苦勞をおかけいたしました。今年も厳しい状況ですが、一層看護師の充足に力を入れ人数確保に努めたいと考えています。そのためには、生き活きとしたやりがいの感じられる職場環境が必要です。いよいよ5月には、オーダリングへ移行しますが、この機会に「看護師が行うべきこと」を整理し、働きやすい環境づくりとともに、看護師がより看護に専念でき、仕事に誇りが持てる職場を目指していきたいと思っています。



QC活動発表

タイムスタディ結果分析の発表を終えて

業務改善委員 北7 富林春江

7月18日~20日の3日間実施されたタイムスタディの集計結果を基に、各部署の業務改善委員を中心に分析し、看護業務の問題改善に向けて取り組んできました。その成果の発表が1月12日に行われ、78名の参加がありました。パワーポイントも上達し、レベルアップされた発表だったのではないのでしょうか？他の部署の取り組み状況が分かり、皆さんが日々努力している様子がとても良く理解できたと思います。終了後のアンケートでは「改善して良い方向になった、今後も頑張ろうと思う」といった意見がありました。これからも業務の中で「こうすれば良いのでは？」と思うことがあれば、どんどん改善していくことで、患者様にはもっと質の高い看護が提供でき、私たちも働きやすい職場になると思います。みんなで更なる業務改善に頑張りましょう！！



** 編集後記 **

冬の寒さも真っ只中？いや今年は暖冬ですね。それぞれ年度末の始末に追われ忙しい日々を送っていますが、「こころ」も「からだ」も休息をとって乗り切っていきましょう。

1月20日

院内看護研究発表会

教育分科委員 南5 高岩美都

今年も1月20日、院内看護研究発表会が行われました。各部署1年間取り組まれた研究成果を存分に発表し、活発な質疑応答、意見交換ができました。第1群：患者・家族の視点から捉えたよりよい看護に関する取り組み、第2群：看護師の知識や技術の向上を目指した看護に関する発表でした。どの発表も、日々臨床の場で起こっている出来事を研究しており、多くのことを学ぶとともに、さらに明日への看護につなげていくことができると思いました。これからも素晴らしい看護研究を行い、どんどん院外での研究発表にチャレンジしていきましょう。今まで講師として来て下さっていた岡島恵子先生のご指導も今年が最後となりました。先生のおかげでレベルの高い看護研究ができ、また院外発表をするまでになりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。5年間、本当にありがとうございました。



つばやき...

JAN.2007

どんな未来も、どんな夢も

小さなことから始まる。